April 17, 2020

LVMH

ラグジュアリー分野の世界的リーダーである LVMH グループ傘下のスイスの時計ブランドは
2021 年以降、ジュネーブでスイス時計産業の他ブランドに加わるため
バーゼルワールドを離れることを決定しました

2020 年 4 月 17 日 – LVMH グループ スイスウォッチ マニュファクチュール及び LVMH ウォッチメイキング ディヴィジョン（タグ・ホイヤー、ウブロ、ゼニス）そして、ブルガリは 2021 年 1 月に予定されていたバーゼルワールドからロレックス、チューダー、パテック フィリップ、シャネル、そしてショパールが離れる事を確認しました。スイス時計産業の存在価値が明らかに低下し、必然的に参加が減少するという状況の中で、LVMH ウォッチブランドにおいても我々のイメージ、そしてクライアント、プレスの方々との関係を保持するためにもバーゼルワールドから離れるべきであると感じております。よって、2021 年のバーゼルワールドへの参加を見合わせる事を決断いたしました。

それぞれの 4 つのメゾンは、ビジネスパートナーやプレスの方々に戦略的な方向性と新製品を発表するため、様々な形式のイベントの可能性を模索しており、タグ・ホイヤー、ウブロ、ゼニスからなる LVMH ウォッチ メイキング ディヴィジョン、そしてブルガリは、今後数週間のうちにそれぞれの目的に応じた方針を決定する予定です。

「私たちメゾンが、100 年以上にわたり毎年参加してきたこのバーゼルワールドを離れなければならないことを心から残念に思います。一方で私たちは迅速に対応し、他のかたちで準備を始める所存です。ビジネスへの大きなチャレンジであり、ブランドへ多大なる影響を与える、時計製造において1年で最も重要なこのイベントの実施方法や内容を再度改革する時がやってきたのです。私たちは 2021 年 4 月にジュネーブに集まるプレステージメゾンと共に全力を尽くしパートナーやクライアントの皆さまからのご期待に応え、素晴らしい体験を提供することを約束いたします。」
LVMH ウォッチメイキングディヴィジョン CEO ステファン・ビアンキ

「ジュネーブは、スイスの時計産業全体におきまして、利便性に優れたロケーションです。また歴史的にも時計製造の中心地でもあります。ビジネスエリアが多岐に分散している現状からジュネーブに復活させ集約することで、大きな利益を生み出す絶好の機会となるでしょう。ジュネーブは、ブルガリが推し進めるラグジュアリービジネスの重要拠点のひとつでありビジネスに於いても大変に目覚ましい成長を遂げております。参加条件などの定義を固めるのはこれからですが、2021 年 4 月、ジュネーブにてブルガリの新作時計を発表できますことを大変に喜ばしく思っております。」
ブルガリ グループ CEO ジャン-クリストフ・ババン

TAG HEUER HUBLOT ZENITH THE FUTURE OF SWISS WATCHMAKING SINCE 1865 BVLGARI ROMA